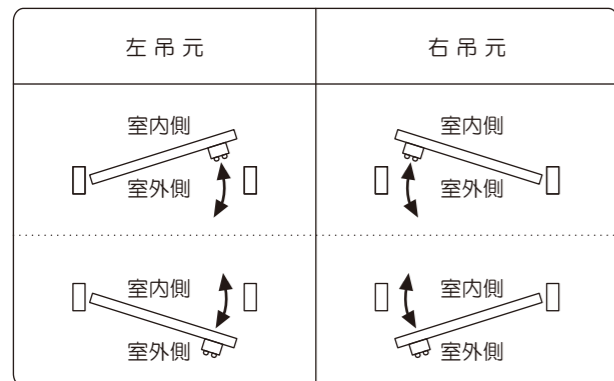


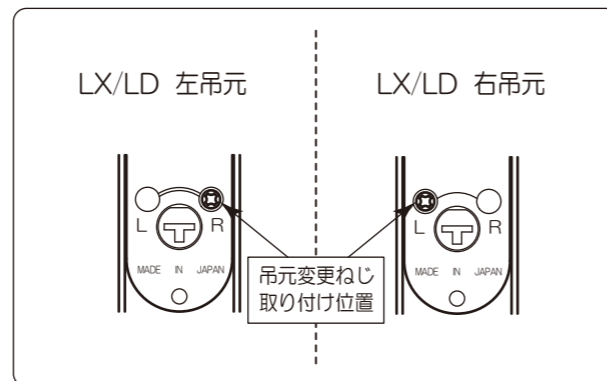
## 吊元と吊元変更ねじの確認

【１】下図で扉の吊元を確認します。



【２】①キーレックス本体裏の吊元変更ねじが下図のように  
なっているかを確認します。

吊元変更ねじを入れ替えたら、しっかりと締め付けます。



## 記憶番号設定に関するご注意

- KL500 は 1 ～ 12 桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は自由です。順番は関係ありません。  
例) 記憶番号 1・2・3 の場合  
1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。
- 1 つのボタンにつき設定は 1 回だけです。 (同じボタンを 2 度押しする設定はできません)  
例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。

## 注意 危険防止の為に以下をお読みください

- 取付ねじのゆるみ
  - 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為に定期的に増し締めしてください。
- 受座の飛び出し
  - 受座の飛び出しが大きい場合、体を傷つけたり、衣服を引っ掛けるおそれがありますので、取付業者に依頼して適正な受座に取り替えてください。
- 他の用途への使用
  - ロックターンにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。
- ◆ 操作上の注意 (故障の原因となります)
  - 製品の分解、改造はしないでください。
  - デッドラッチ、デッドボルトを突出させた状態で扉を閉めないでください。
  - ボタンを押しながら、ロックターンの操作をしないでください。
- ◆ 永くご使用頂くために
  - 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。
  - 表面の手入れは柔らかな布でから拭きしてください。汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。

ドアの吊り下がり、扉の開閉速度、丁番の具合など異常がありましたら専門の業者にご相談ください。

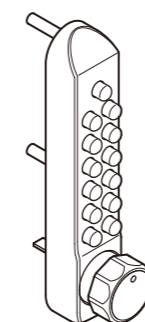
7274801

# KEYLEX<sup>®</sup> 500

KL500  
GOAL (LX/LD)  
シリンダー取替

## 取扱説明書 (施主様向)

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。  
この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



22274

防犯上、定期的に記憶番号の変更をされますようおすすめ致します。

### 〈記憶番号の記録〉

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

ただ今の記憶番号

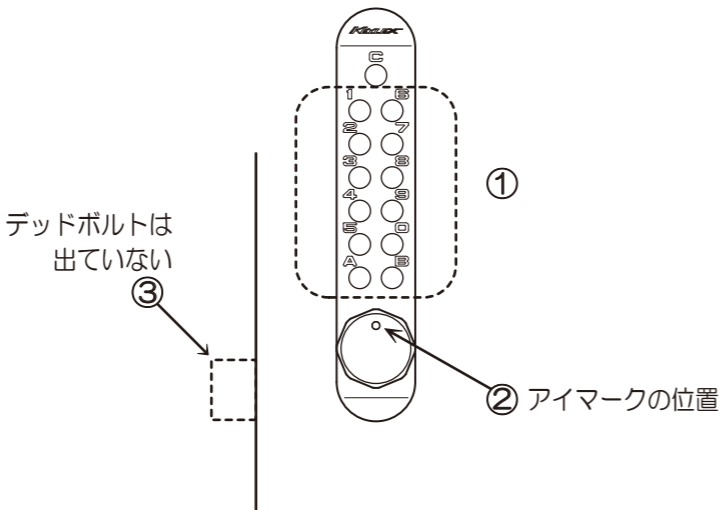
基本操作

シリンダーでの鍵操作が、ボタン操作に変わります。

ご使用前に確認してください。

- ① 登録している記憶番号
- ② ロックターンのアイマークが  
図の位置（真上）にある
- ③ デッドボルトが錠に収まっている

※ 図は右吊元仕様です



室内側

室外側

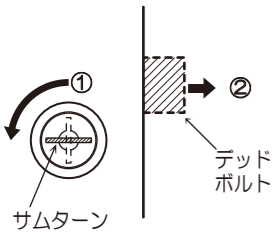
施錠

- ① サムターンを回します
- ② デッドボルトが出て、施錠されます

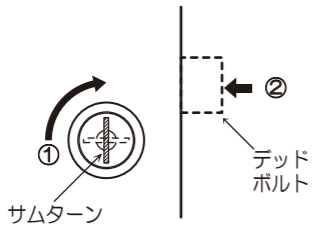
解錠

- ① サムターンを回します
- ② デッドボルトが収まり、解錠されます

施錠



解錠



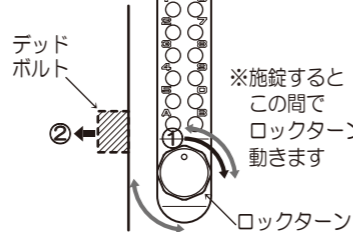
施錠

- ① ロックターンを回します
- ② デッドボルトが出て、施錠されます

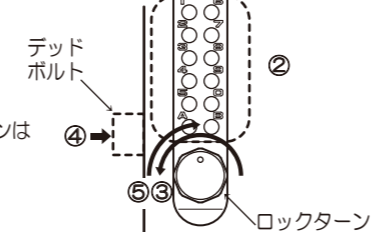
解錠

- ① C ボタンを押します：誤操作の記憶番号が解除されます
- ② 正しい記憶番号を押します
- ③ ロックターンを回しきります（アイマーク：ヨコになる）
- ④ デッドボルトが収まり、解錠されます
- ⑤ ロックターンを90° 元に戻します（アイマーク：ヨコ→タテ）

施錠



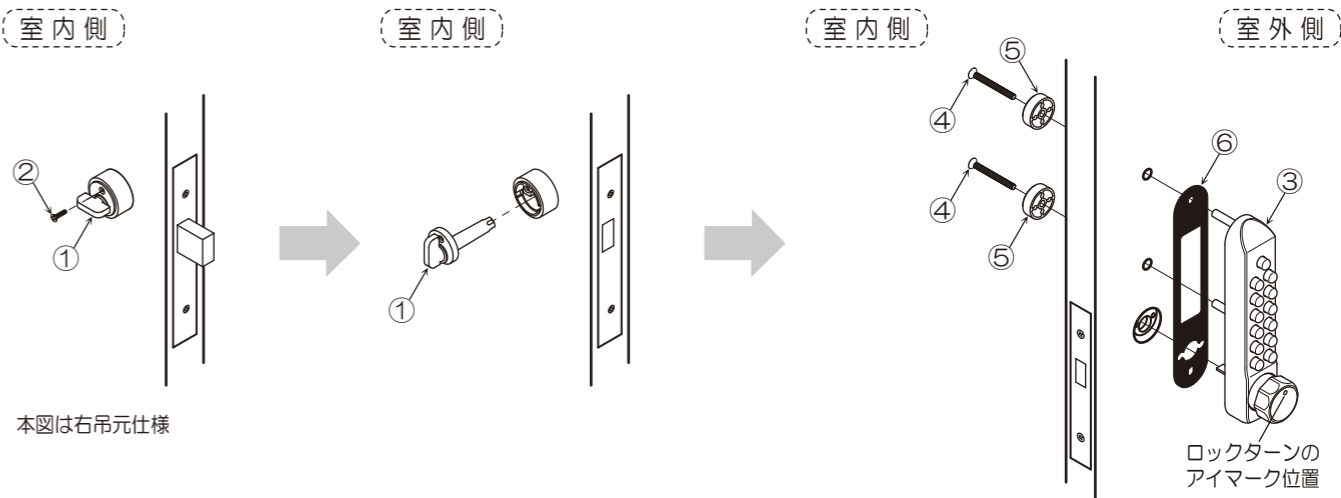
解錠



※ 本図は右吊元仕様です。左吊元時は対称です。

記憶番号の変更手順 扉は開けたままの状態でおこないます

- 【 1 】 キーレックス本体を取り外します 取り外した部材は全て使います。紛失しないようにご注意ください。



- I：①サムターン座を 90 度回し  
（デッドボルトが飛び出します）  
②サムターン固定ねじを  
抜きます。

- II：①サムターン座を  
図の向きに戻し、  
（デッドボルトが収まる）  
②サムターン座を  
抜きます。

- III：③キーレックス本体の落下に注意しながら、  
④本体固定ねじをはずします。  
IV：③キーレックス本体、⑤室内丸座、  
⑥樹脂ベースを取りはずします。

- 【 2 】 記憶番号の設定変更をします

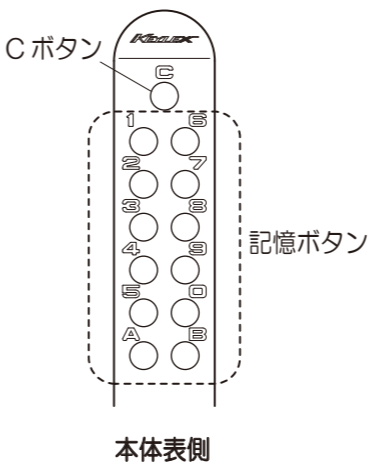
- ① 本体表側の **C ボタン** を押します。  
⑤まで、記憶ボタンは押さないで  
ください。

※ C ボタンを押さないと、内部部品が破損する  
場合があります。必ず押してください。

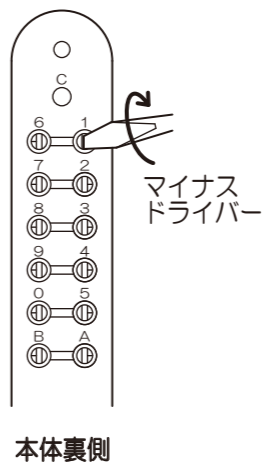
- ② 本体を裏側にし、記憶されている  
ロックピンを回転させ  
（ロックピンの横溝を外側にする）  
すべてをクリアします。

- ③ 新規に記憶する番号を必ず記録します。  
本紙裏面に記入欄があります。

- ④ 新しい記憶番号のロックピン横溝を  
中央部の横溝にあわせます。

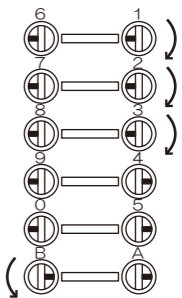


本体表側



本体裏側

例：B 1 2 3



- ⑤ 新しい記憶番号を押し、ロックターンが  
確実に作動することを確認します。

基本操作 室外側欄を参照します。

- 【 3 】 本体を取り付けます

- 【 1 】 と逆の順番で取り付けます。

左の基本操作に沿って、作動確認をして完了です。  
正しく作動しない場合は、記憶番号とテールピースの取り付け時の向きを確認してください。